

資料12 図書館ネットワークシステムを活用した授業実践（中央小学校）

3年 国語科学習指導案（抜粋） 単元構想
【 動物の出てくるお気に入りの本を友だちに紹介しよう 】

1 研修との関わり < 学校図書館全体計画より抜粋 >

学校教育目標	たくましい子
重点目標	聴こう 考えよう 伝えよう
学校図書館の目標	いろいろな本に出会い、読書の楽しさを味わわせ、豊かな心を育むとともに、さまざまな情報の中から課題に合った情報を選んで活用し、自ら学ぶ力を育てる。

研修内容

子どもたちが、物語のおもしろさを味わい、伝える場を設定する。

- ① 物語を読み、音読の楽しさや主人公の気持ちを読み取る活動を通して、物語のイメージを広げる。
- ② 物語を紹介するために、自分なりの言葉や表現方法で表すことができる。

豊かな心を育む読書指導

1, 2年 読み聞かせを楽しみ絵本を楽しく読む	3, 4年 読書の幅を広げ、いろいろな分類の本を読む。	5, 6年 読書を通して、考えを深め広げる。
----------------------------	--------------------------------	---------------------------

利用しやすい図書館経営

<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる町立図書館の資料検索と予約による授業支援 パソコンによる蔵書一括管理 	<ul style="list-style-type: none"> 町内移動システムを活用した町立図書館、町内学校との相互貸借システム〔学校図書館資源共有ネットワーク推進事業〕 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書や司書教諭による授業支援 読書ボランティアとの連携
---	--	---

（手立て）

- ①については、役割読みや言葉にこだわって言葉からイメージを広げて読むことができるようにする。
- ②については、誰に対してどのよう伝えるのか目的意識をはっきりもたせる。紹介する相手に合った伝え方を選び、工夫した表現方法で伝えることができるように多様な表現方法を教える。

1 単元構想（18時間扱い）

動物の出てくるお気に入りの本を友だちに紹介しよう

【第一次 『わすれられないおくりもの』】

『わすれられないおくりもの』を読んでみよう ①

- ・わすれられないおくりものを読み感想を書く。

あなぐまは死ぬことが、こわくなかったのかな ②③

- ・(一)～(三)の場面からあなぐまのやさしさや思いやりを読み取る。
- ・(四)～(五)の場面からあなぐまを失った動物たちの悲しみを感じ取る。
- ◎あなぐまの人柄やあなぐまを失った動物たちの悲しみを本文から読み取る。(読むこと)

あなぐまからみんなへの「おくりもの」を書こう ④

- ・あなぐまの「おくりもの」を(六)の場面から読み取り発表する。
- ◎あなぐまからの「おくりもの」を本文中の言葉に注意しながら、読み取る。(読むこと)

なぜ、あなぐまの「おくりもの」が「わすれられないおくりもの」になったのだろう ⑤⑥

- ・「おくりもの」が一人一人のたからものになるような知恵や工夫を残してくれたあなぐまの素晴らしさを読み取り、発表する。
- ・もぐらが最後に言いたかったことを吹き出しに書き、感想を書く。
- ◎「わすれられないおくりもの」になった理由を本文中の言葉に注意しながら、読み取る。(読むこと)

資源共有ネットワーク事業での支援

物流

- ・第三次に向け、動物が登場する本をネットワークを利用して町内の他校より本を借りてくる。
- ・吉田町の図書館から本を借りる。パソコン検索でリストアップする。
- ・動物の出てくる本のコーナーを作っていく。

教師の支援

【主体的な読書活動ができるようにする支援】

- ・「わすれられないおくりもの」や「のらねこ」の学習と平行して「動物の出てくる物語」について自分がおすすめる本のリストアップを行う。
- ・スーザンパーレーや三木卓の本を紹介する。
- ・「わすれられないおくりもの」については、読み取りの学習を行い、登場人物の気持ちを追う。

資源共有ネットワーク事業での支援

人材

- ・「動物の出てくる本」の読み聞かせを行い、意欲を高める。朝の読書の時間の担任や学年の教師、図書館司書等で行う。
- ・週一回のお話玉箱の読み聞かせの時間にボランティアさんによる「動物の出てくる本」をリクエストしておく。
- ・パソコンでの検索の仕方を教える。
- ・本の探し方や選び方を教える。
- ・カンファレンスを行う。

環境

- ・「おすすめの本カード」におすすめる本の感想、おすすめる理由、お書きしたため、蓄積しておく。廊下等に掲示し、お互い情報交換できるようにする。

【主体的な読書活動ができるようにする支援】

- ・友だちの発表を聞き、その中から読んでみたい本を選び、読むことに「おすすめの本リスト」を作ったり、おすすめる本を作ったりする。

【第二次 『のらねこ』】

動物の出てくるお話には、どんなものがあるかな ⑦

- ・第三次までの単元全体を通しての学習計画を知り、見通しを立てる。

『のらねこ』を読んでみよう ⑧

- ・『のらねこ』を読み、おもしろかったことなど感想を書く。
- ◎『のらねこ』を読んで、おもしろかったこと、不思議なことなど読んだ感想を書く。(関心・意欲・態度)

役割を決めて読んでみよう ⑨⑩

- ・読み方の工夫(登場人物の気持ちになって、声に出して読む)や声の大きさや間の取り方に注意して、音読する。
- ◎面白さが伝わるように音読を工夫する。(読むこと)

おすすめする話の紹介の仕方を考えよう ⑪⑫(本時)

- ・『わすれられないおくりもの』『のらねこ』どちらを人に薦めるかを考え、紹介の方法を工夫する。
- ・何場面のどんなところをどのような方法で伝えたいか構想を練る。
- ◎おすすめするポイントをはっきりと持ち、紹介するための準備をすることができる。

おすすめする話の紹介をしよう ⑬

- ・『わすれられないおくりもの』『のらねこ』どちらを人に薦めるかを考え、紹介の方法を工夫して発表する。
- ・『わすれられない～』派と『のらねこ』派に分かれて発表する。
- ◎作品を薦める理由を自分の言葉で伝えようとしている。(話すこと)

【第三次 動物(生き物)の出てくる本を紹介する】

動物(生き物)の出てくる本を見つけよう ⑭

- ・動物(生き物)の出てくる本を集めて、気に入った本を見つける。
- ◎自分の気に入った動物の本を見つけることができる。(関心・意欲・態度)

おすすめする本の紹介の準備をしよう ⑮⑯

- ・自分が選んだ本のおすすめ情報を絵、あらすじ、心に残った文、クイズ等の形式で紹介カードに書く。
- ◎自分がその本をすすめるポイントをはっきり書くことができる。

おすすめする話を1年生へ紹介しよう ⑰

- ・自分がすすめる本について紹介する。
- ・友だちの紹介した本の中から、気に入った本を見つける。
- ◎自分のすすめる本を絵で紹介したり、クイズで紹介したり工夫できる。(話すこと)
- ◎友だちの紹介した本の中から、自分の気に入った本を見つけることができる。(聞くこと)(書くこと)

友だちのおすすめ本の感想を書こう・自分も読んでみよう ⑱

- ・あらかじめ読んでおいた友だちの紹介から選んだ本の感想を書く。
- ◎友だちの紹介から選んだ本の感想を書くことができる。(書くこと)

教師の支援

【工夫した紹介の仕方ができるようにするための支援】

- 初めて出会う物語の紹介例
- ・『のらねこ』との出会いを工夫して行う。『のらねこ』の紹介CMをクイズなどで行い意欲を持たせるとともに紹介の仕方の方法を教える。

- みんなが知っている物語の紹介例
- ・「紹介CM」パート2を行い、様々な紹介の仕方があることを知り、自分なりに工夫して紹介できるようにさせたい。

- ・どのような方法で紹介していくか2、3人のグループで考えさせる。何をどのように伝えるかはっきりさせる。

【意欲をもって相手に伝えるようにするための支援】

- ・目的意識をもって紹介できるように、誰に紹介するのか子どもたちと話し合っ決めて。
- ・紹介する相手を意識して、紹介する場を設定する。
- ・聞き手におすすめのポイントをはっきりするような話し方の工夫をする。

3年 国語 動物の出てくるお気に入りの本を友だちに紹介しよう
 ～ 本の世界を広げよう ～



共有ネットワークを活用して、各
 学校から、動物の出てくる物語の絵
 本を借りる



紹介したい本を選んで、「おすすめの
 本カード」にたくさん書きこんでおいた
 よ。紹介の仕方も考えたよ。



ペープサートを使って「のらねこ」の紹
 介をしたよ。リョウがポケットからかんづ
 めを取り出し、のらねこにあげたところを
 紹介したよ。

のらねこが、「リョウのけち」ってい
 ったところでは、ねこの首を動かして表現し
 たよ。

ねこの首が動くようにペープサートを
 作ったよ。



一年生に紹介しに行ったよ。絵本
 の中からまちがいさがしをやった
 よ。紹介も一生懸命聞いてくれたよ。



おさるの人形を使って紹介したよ。み
 んな真剣に聞いてくれたよ。

第6学年A組国語科指導案（抜粋）

単元名 情報をもとに考えをまとめて書こう 「社会に目を向けて」

- 目標
- ・身近な事象や社会的問題に関心を持ち、関連する情報を集め、整理して発信することができる。
 - ・書く必要のあることを整理し、考えをはっきりさせ事象と意見を区別して書くことができる。
 - ・表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書などを利用して調べることができる。

単元構想（16時間扱い）

<p>教師の支援</p> <p>【事前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本さがしの旅にでよう」（学年：図書館の本の配置、作者さがし、本さがし） ・静岡県レッドデータバンクの提示（こあじさし等絶滅危惧種）（T1） ・「課題の見つけ方」（T2） ・環境問題のウェビングでジャンルの紹介 ・関連図書を町立図書館で借りる。（T1, 2学校司書） ・町内の他校で本を借りる。（学校司書、町内他校の司書） ・文献で足りない資料の補充（県立、周辺市町の図書館より） ・身近な人に聞く ・インターネット検索 ・新聞資料の提示 ・本から情報を取り出すときのアドバイス ・意見の書き方指導 	<p>情報をもとに考えをまとめて意見文を書いてみよう</p> <p>「がんばれ、こあじさし」を書くまでの過程を大体つかむ①</p> <p>「社会に目を向けて」をていねいに読み、意見文を書くまでの手順を理解する。②</p> <p>1 課題を見つけよう ③④⑤</p> <p>「釧路湿原とタンチョウ」</p> <p>「インタビュー地球環境を考える」をみんなで読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心あるテーマを出し合う。 ・図書室で本にあたって、自分の課題を探す。 <p>2 課題について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がんばれ、こあじさし」の意見文について、事実と考えを区別し、全体の構成を知る。⑥ ・課題について必要な情報を書き出す。意見があるときは書いておく。⑦⑧⑨（本時） ⑩ <p>3 友達と話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマが近いグループ内で情報交換し、アドバイスし合う。参考にしたいことは書き加える。⑪ <p>4 調べたことをもとに意見文を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き始めの段落を書く。⑫ ・課題設定の理由から調べるまでを書く。⑬ ・調べたこと（事象）と意見を区別して書く⑭⑮ <p>5 お互いの意見文を読み合おう。⑯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文集の形にまとめ、読み合う。 ・調べたことと意見がきちんと書かれているか読み取る。 ・一番伝えたい意見が何であるか考えて読む。 ・友達の意見文のよいところを出し合う。
---	---

6年 国語 情報をもとに考えをまとめて書こう

～ 社会に目を向けて ～



富士山への不法投棄はなぜ起きてしまうのか。

登山家の野口さんは、どのような活動をしているのか。

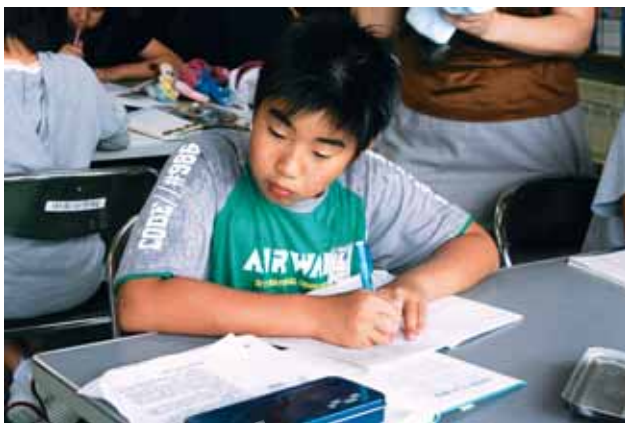


ぼくのうちの亀のよしお君も大変だ。環境がどんどん悪くなっているし。



付箋を貼って調べると楽。必要な情報を集めることができる。

この記事は、水俣病と関係があるのかなあ。



インターネットでも調べたよ。わかったことを書き抜いていこう。



事実は、上の欄に、意見、感想は下の欄に書いていくとはっきりするよ。

2年D組 道徳指導案(抜粋) 主題名 おたんじょうおめでとう(生命尊重)

絵本『そらまめくんのベッド』を使った授業

目標

ひなが生まれたときのそらまめくんやうずらのお母さんの気持ちを考えることを通して、身近な命を大切にしようという思いにふれる

この学習後、そらまめくんシリーズが次々と読まれ、2年生の図書館利用が高まり、音楽会での発表につながっていった。

段階	学習活動(発問と予想される児童の表れ)	支援・留意点(☆)・評価(◎)
導入	<p>1 生まれたばかりのひよこの写真を見る。</p> <p>写真を見て、どんなことを思いましたか。</p> <p>・小さいな。 ・かわいい。 ・さわりたい。</p>	<p>☆ひよこの写真とプロジェクターを用意しておく。</p>
展開	<p>2 資料『そらまめくんのベッド』を聞いて話し合う。</p> <p>(1) ベッドがなくなったとき、そらまめくんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ベッドがない。だれかがもっていったんだ。</p> <p>・困ったな。眠れないよ。</p> <p>(2) ベッドが見つかったとき、そらまめくんはどんなことを思ったでしょう。</p> <p>・やったー。見つかったぞ。 ・あのたまご、じゃまだな。</p> <p>・ぼくの大切なベッドがあったぞ。 ・たまごがなければいいのに。</p> <p>・ぼくのベッド、かえてよ。</p> <p>・しかたがない、たまごがかわるまで、ベッドをかしてあげようかな。</p> <p>(3) ベッドを見はっているとき、そらまめくんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・早く生まれてこないかな。 ・ぼくのベッドを早く返してほしいよ。</p> <p>・かわいいひなが生まれてくるといいな。 ・ベッドを大切に壊さないでね。</p> <p>・だんだんベッドよりもたまごのことが気になってきたぞ。</p> <p>・生まれるまでぼくがみはっているからね。 だいじょうぶだよ。</p> <p>(4) ベッドでひながかえったとき、そらまめくんとうずらのお母さんはなんと言ったでしょう。</p> <p>(そらまめくん) ・やったー。かわいいな。 ・ベッドはもう返してね。</p> <p>・がんばって生んだんだね。 すごいね。</p> <p>・ぼくのベッドで生まれたんだ。 うれしいな。</p> <p>・生まれてくれてぼくもうれしいよ。</p> <p>(うずらのお母さん) ・ベッドをかしてくれてありがとう。</p> <p>・赤ちゃんが生まれてくれてうれしいわ。</p> <p>・そらまめくんが喜んでくれて私もうれしいわ。</p> <p>(5) みんなもそらまめくんのようにいのちが生まれてよるこんだことはありますか。</p> <p>・かっているねこが生まれてかわいかったよ。</p> <p>・4さいの時、弟が生まれたよ。 うれしかったよ。</p> <p>・かまきりの赤ちゃんが生まれたよ。 毎日お世話をしていたよ。</p>	<p>☆絵本を読み聞かせる。</p> <p>☆うずらの絵を提示する。</p> <p>☆そらまめくんの気持ちをペーパーサートを持って発表させる</p> <p>☆そらまめくんの気持ちの変化(ベッドからたまごへ)を考えることができるようにキーワードを提示する。</p> <p>①あのベッドでたまごをあたためているんだ。</p> <p>②しかたがない、少しだけかしてあげようかな。</p> <p>③あのたまご、これからどうなるんだろう。</p> <p>☆場合によっては、ベッドからたまごへと気持ち移った理由を切り返して聞いてみる。</p> <p>☆ひなが生まれてくる場面絵を何枚も提示して、いのちの誕生の喜びに気づくことができるようにする。</p> <p>☆うずらとそらまめくんの会話を吹きだしに書かせる。</p> <p>書いた後は、ペーパーサートによる役割演技で発表させる。(個が生きる場)</p> <p>☆最近子猫が生まれたKくん、赤ちゃんが生まれたNさんにどんな気持ちだったか尋ねたい。</p>
	終末	<p>3 教師の説話を聞く。</p>

2年 道徳 主題名 おたんじょうおめでとう（生命尊重）



大型絵本の読み聞かせで
導入
『そらまめくんのベッド』

ベッドがなくなって、
そらまめくんは、
どうなるんだろう？



うずら君のたまごの
ベッドになっていたんだ。
赤ちゃん、いつうまれるかな？